

みんなでおいしく いただきます!

おさらピカピカ
だいさくせん





ナレーション

そんなさくら組さんへ、年長のゆり組さんから、待ちに待ったこどもパーティーの招待状が届きました。

子どもたち

「あさこ先生、早く読んで読んで。」

せかすように

ナレーション

子どもたちが集まってきました。

あさこ先生

「じゃあ読んでみるね。『さくら組さんこんにちは。来月、こどもパーティーがあります。ぼくたちわたしたちは、一生懸命みんなのために準備をしています。今度、手作りのカチューシャやちょうネクタイをプレゼントするので、パーティーはそれを着けておしゃれをして来てください。おいしいごちそうもたくさんあるよ。メニューは、グリーンピースごはん、たまねぎとしいたけのスープ、ステーキのミニトマト添え、にんじん・きゅうり・セロリのスティックサラダ、デザートはおいしいリンゴパイ。パーティーに来たらキレイにゼーンぶ食べてね。』だって。」





③

演出メモ

子どもたち

「やったあー。楽しみだなあ。わーい。わーい。」

うれしそうに

ナレーション

みんなとってもうれしそうです。

おやあ？　ひとし君はどうしたのでしょうか。

ひとし

「お肉なんて。ぼく、絶対飲みこめない！」

拒否する
感じで

ナレーション

そういえば、かすみちゃんやみゆちゃんも。

かすみ

「かすみはごはんよりパンがいいなあ・・・。」

わがままな
感じで

みゆ

「りんごやだなあ。食べられるかなあ・・・。」

不安そうに

ナレーション

その隣でゆうと君も心配そうな顔をしています。

ゆうと

「えー、トットツ　トマト・・・。どうしよう。食べられるかなあ。」

自信が
なさそうに

あさこ先生

「みんな全部食べられるよね！がんばろうね！」
でも本当は、あさこ先生もセロリが苦手でした。

励ますように





ナレーション

こどもパーティーの準備はどんどん進んでいます。

ゆり組さんはカチューシャとちょうネクタイを作ってくれています。

かわいいランチョンマットも出来上がってきました。

年中のひまわり組さんは輪つなぎを作って、お部屋をきれいに飾ってくれています。

子どもたち

「早くこどもパーティーにならないかなあ。」

ナレーション

さくら組さんも、わくわく楽しみにしています。

でも、おやおや、なんだか心配そうな子たちがいますよ。





ナレーシヨン
それもそのはず。さくら組さんでは、いつも食べきれずに残された給食がたくさん。給食のまつこ先生と、もところ先生も悲しそう。

まつこ先生
「みんなが残した給食はどうなると思う?」

もところ先生
「せっかく作った給食も残ったら全部捨ててしまうんだよ。本当にもったいないよね。」

ナレーシヨン
と、まつこ先生ともところ先生は話しました。

ろすのん
「ぼくも悲しいのん。」

語尾に「のん」

ナレーシヨン
まつこ先生ともところ先生の後ろで、ろすのんが泣いています。

子ども
「泣いているのは、だあれっ?」

ろすのん
「ぼくはろすのん。さくら組のみんなが食べ物を残して、もったいないと思ったから、出てきたのん。もったいないのん。悲しいのん。」

語尾に「のん」

子ども
「ろすのん、泣かないで。ぼくたち食べられるように頑張ってみるよ。」

子ども
「でも、どうしたらいいんだろう?」

ナレーシヨン
すると、

アルプちゃん
「そんなときはわたしに任せて!ーさあ一緒に頑張ろう!」
と、アルプちゃんが助けにやってきてくれました。
いよいよ、「お皿ピカピカ大作戦」がスタートします。

ヒーローっぽく





⑥

演出メモ

ナレーシヨン トマトが苦手なゆうと君に、農家のおじさんがトマトの苗を持ってきてくれました。

おじさん

「ゆうと君。トマトはね、水をあげて、太陽の日をいっぱい浴びると、赤くて甘くなるんだよ。」

ゆうと

「えゝ。本当ゝ?」

疑っている
感じで

ナレーシヨン

と言いなながらも、ゆうと君は、毎日毎日、アルプちゃんとトマトの様子を見に行きました。

（2／4抜く）

ナレーシヨン

トマトの木がゆうと君の背と同じくらいになった頃、小さくて黄色いかわいい花が咲きました。

（3／4抜く）

ナレーシヨン しばらくすると、緑の小さなトマトができました。

ゆうと

「あれ、このトマト赤くないよ。」

アルプちゃん

「ゆうと君もう少し待っててごらん。トマトは最初、緑色なんだけど、もうすぐ赤くなってくるよ。」

言い聞かせる
ように

（全部抜く）

ナレーシヨン

ゆうと

アルプちゃんが言ったとおり、トマトは真っ赤になりました。「わあ。すごい!!なんだかおいしそう。ぼくちよつとだけ食べてみようかな。」

「パクツ。あれっ?甘い?おいしい!! 本当に甘いんだね!!」

驚いている
感じで

ナレーシヨン

ゆうと君は、苦手だったトマトが食べられるようになりました。

（1／4抜く）





ナレーシヨン

ひとし君は、お肉を食べるのがとても苦手です。

（2／4 抜く）

ナレーシヨン

どうしてかというと、なかなか飲みこめずに、口の中にいつもお肉が残ってしまっからです。

ひとし

「ぼくはどうしてお肉が飲みこめないんだろう。」

ナレーシヨン

心配したアルプちゃんがひとし君の口の中を見てくれました。

くやしそうに

（3／4 抜く）

アルプちゃん

「ひとし君はお肉をどの歯で噛んでいるの？」

ひとし

「前の歯だよ。」

アルプちゃん

「なるほど。それで、どうして飲みこめないかわかったよ。今度は奥の歯でしっかり噛んで食べてみて。」

（全部 抜く）

ひとし

「もぐもぐもぐもぐもぐもぐ……。ごっつくん！

あっ。飲みこめた。でもどうして？」

アルプちゃん

「それはね、前の歯は食べ物を切る役目をしてるんだけど、奥の歯は食べ物をつぶして小さくする役目をするんだよ。だから奥歯でしっかり噛むと飲みこめるようになるんだ。」

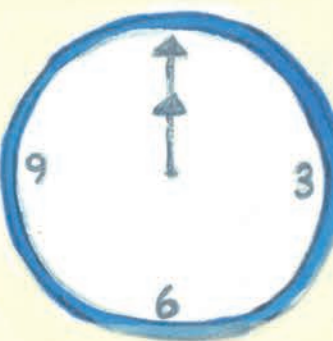
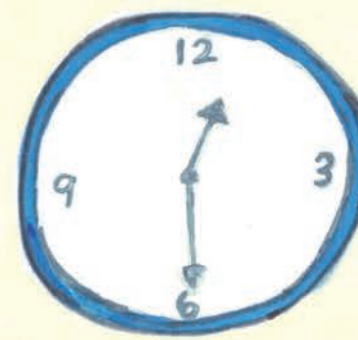
ひとし

「そうかあ。奥歯でいっぱい噛んだから飲みこめたんだね。」

ナレーシヨン

ひとし君は、お肉が飲みこめるようになりました。

（1／4 抜く）



.....

.....





お母さん
かすみ
ナレーシヨン
「かすみちゃん、また、白いごはんばかり残して・・・。」
「だって、おいしそうじゃないんだもん。」
困っているお母さんのところに、アルプちゃんがやってきました。

アルプちゃん
「良い考えがあるよ。 かすみちゃん、一緒におにぎりを作
つてみない?」

かすみ
お母さん
「おにぎり?」
「そうね。一緒におにぎり作ってみようか。」

(2／4 抜く)

ナレーシヨン
かすみちゃんとお母さんは一緒におにぎりを作ってみました。

かすみ
「うーん、難しいよう。なかなかうまくにぎれない。」

お母さん
「でも、かすみちゃん、少しずつ上手になってきたじゃない。」

(3／4 抜く)

アルプちゃん
「とっても、上手にできたね。初めてのおにぎり記念にプ
レゼントだよ。」

ナレーシヨン
と、アルプちゃんがチューリップやお星さまの形に切った
海苔をくれました。

かすみ
「わあい!ー!かわいいおにぎりができた。」

うれしそうに

(全部 抜く)

アルプちゃん
「じゃあ、みんなで食べよう。」

ナレーシヨン
かすみちゃんの横でお母さんとアルプちゃんがおいしそう
におにぎりを食べはじめました。すると、

かすみ
「パクッ。おにぎりおいしい!」

ナレーシヨン
あんなにごはんが苦手だったかすみちゃんがおにぎりを食
べることができました。

ろすのん
「やったのん。すごいのん。」

うれしそうに

(2／3 抜く)





ナレーション

⑨

演出メモ

さあ、今日はいよいよ待ちに待った、こどもパーティーの日です。

みんな、ゆり組さんが作ってくれたカチューシャやちょうネクタイをつけておしゃれをしてわくわくどきどき。

ごはんが苦手だったかすみちゃんも、お肉が飲みこめなかったひとし君も、トマトが食べられなかったゆうと君もニコニコ自信たっぷりの様子です。

おや。みゆちゃんはどうしたのでしょうか？

(全部抜く)

2/3

みゆ

「みんなすごいな。わたし、りんご食べられるかなあ。」

不安そうに

ナレーション

みゆちゃんは心配そうにみんなを見つめています。





ナレーション

パーティーでは、ゆり組さんの劇を見たり、ひまわり組さんの歌を聞いたり、園長先生の手品も見ました。

とても楽しい時間の後は、いよいよ待ちに待ったごちそうです。

テーブルには、ゆり組さんがつくったランチヨンマットの上に、まつこ先生ともどこ先生が一生懸命作ってくれたごちそうが並んでいました。

子ども

「わあっ！ かわいい！」

「とってもきれい。」

「おいしそうだなあ。先生ありがとう。」

「わあ。ごはんの上には、旗が立ってるよ。」

「はやく食べようよ。」

ナレーション

テーブルの上のりんごを見たみゆちゃんはびっくり。

だって、りんごがかわいいうさぎさんになっていたのです。

みゆ

「みゆ。うさぎちゃん大好き。これなら食べられるかも！」

まつこ先生、もどこ先生、ありがとう。」

ナレーション

まつこ先生ももどこ先生もうれしそう。ゆり組さんもひまわり組さんもニコニコ見えています。

うれしくて
うきうきと
した感じで

うれしそうに





子ども

11

演出メモ

楽しく
おいしく
食べている
感じで

「いただきます。」

「本当においしい！」

「みんなで食べるとおいしいね。」

「おかわり！」

「ぼくにも！」

「わたしにもちょうだい！」

ナレーション

ぱくぱくおいしそうに食べている子どもたちを見て、アル
プちゃんとろすのんもうれしそうです。

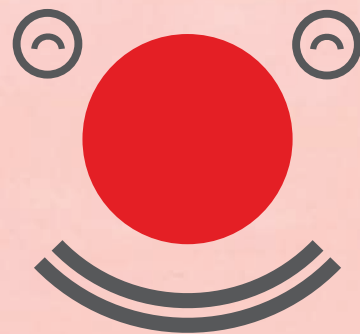
アルプちゃん

「こんなに食べられるようになって、すごいね、みんな。」

ろすのん

「よかったのん。うれしいのん。」

にこにこほいくえん  こどもぱーてぃー





子ども

「ごちそうさまでした。」

「おいしかったね。」

「見て、ぼくのお皿ピカピカ。すごいでしょ。」

「この旗とランチョンマット持って帰っていい?」

ナレーション

子どもたちのお皿は、全部空っぽ。食べられないものがあつた子どもたちもみんなキレイに食べることができました。

こどもパーティー大成功!!

あれえ。先生の様子がちよつと変ですよ。

子ども

「あさこ先生どうしたの?」

あさこ先生

「それがあ。そのお。えつとお。みんなには言いづらいんだけど……。先生、本当は……。セロリが食べられないの。がんばったけど、今日も食べられなかったの。」

申し訳
なさそうに

子ども

「なあんだ。先生も食べられないものあつたんだ。大丈夫。僕たちが食べられるように応援してあげるよ。」

励ますように

あさこ先生

「ありがとうみんな。先生、がんばる!」

ナレーション

あさこ先生は、来年のこどもパーティーまでにセロリを食べられるようになるでしょうか。

みんなはごはんを残してもったいないことしていかないかな? アルプちゃんとりすのんが、みんなを見ているかもしれないよ。

語りかける
ように

(おしまい)





「みんなでおいしくいただきます！」
　　＼お皿ピカピカ大作戦！＼」

絵・文・脚本　まみあ・ちか
アドバイス　竹迫　祐子

①

ナレーション

にここ保育園で一番楽しい日。それは「こどもパーティー」の日。だってその日は、みんなでおしゃれをして集まって、楽しいゲームをして、いっぱいごちそうを食べるんですから。

年少のさくら組さんには、＼初めてのこどもパーティー＼。
みんなその日を楽しみにしています。

演出メモ

「にここ保育園」はそれぞれの保育園名に自由に変更可